

令和5年度

校内研究グランドデザイン

曾於市立財部小学校

子供の実態

- 自分の考えを書くことが好き 6割
- 友達との話合いが好き 7割
- ICTを活用した授業が楽しい 9割
- 振り返りで自分のことができることが分かる 7割

【目指す学校像】

- 安心して学べ、子供の笑顔があふれる学校
- 学力定着が図られ、生きる力を育む学校
- 整理整頓が行き届き、美しく落ち着いた学校
- 地域から信頼され、地域に育まれる学校

【学校教育目標】

共に学びながら、自律できる子供を育てる

【目指す子供像】

- 主体的に課題に向き合い、表現できる子供
- 礼儀正しく、思いやりのある子供
- 体を鍛え、たくましい子供
- ふるさとを知り、ふるさとに学ぶ子供

社会的要請

- ・ 教育関係法規
- ・ 教育振興計画
- ・ 学習指導要領
- ・ 県、市学校教育の指針
- ・ 保護者・地域の願い

【目指す教師像】

- 豊かな人間性と協調性にあふれる教師
- 使命感と職責感に燃え、自己研鑽する教師
- プロ意識をもち、授業で勝負する教師
- 地域と協働し、地域を愛する教師

【研究主題】

学びの質を高め、学力向上につなぐ
授業の創造

～自分の考えを表現することのできる子供の育成～

【研究の仮説】

- 仮説1 授業の協働学習の場において、対話を重視した「学び合い」により、課題を解決していくことで、子供たちが主体的に学習に取り組み、自分の意見を表現する力が高まるのではないだろうか。
- 仮説2 振り返りの場において、子供たちが、できるようになったことやできなかったことをもとに、複数の観点からの振り返りを行うことで、学習する価値を実感できるのではないだろうか。

【共通実践事項～基礎基本定着のために】

- 財部スタンダード ○学習のきまり ○視点1と2の実践 ○一人一実践（授業）
○各種分析の活用（NRT・全国学力学習状況調査・鹿児島学習定着度調査等）

視点1 学び合いの充実・発展

◎学び合いの時間の設定

- ・ 分かること、分からないことの自覚化
- ・ 対話活動の充実（目的・手段の工夫）
- ・ 授業導入時の教師の発問
- ・ 対話しやすい雰囲気づくり
- ・ どの教科でも生かせる話合いの取組

視点2 見通し・振り返り・見届け

◎複数の観点による振り返りの継続

- ・ 学習のゴールの明確化（学習課題の提示）
- ・ 指導事項が身に付いたかを見届ける問題の実施
- ・ 振り返りの仕方の自校化